

生涯活躍のまち静岡（CCRC）  
駿河共生地区

平成30年度（H30.6～）の取組実績



# 「健康長寿のまち」に向けた静岡市の対応方針



## 健康長寿のまちづくりの全体像 (富士山型)

（静岡県地域包括ケアシステムの構築）  
「自宅ですすむ」と「プロジェクト」

健康長寿世界一の都市の実現



「富士山型」の総合的なモデル実施の取組  
= 生涯活躍のまち静岡 (CCRC)

### モデル地区

- 駿河共生地区 (駿河区役所周辺)
- 葵おまち地区 (葵区中心市街地)

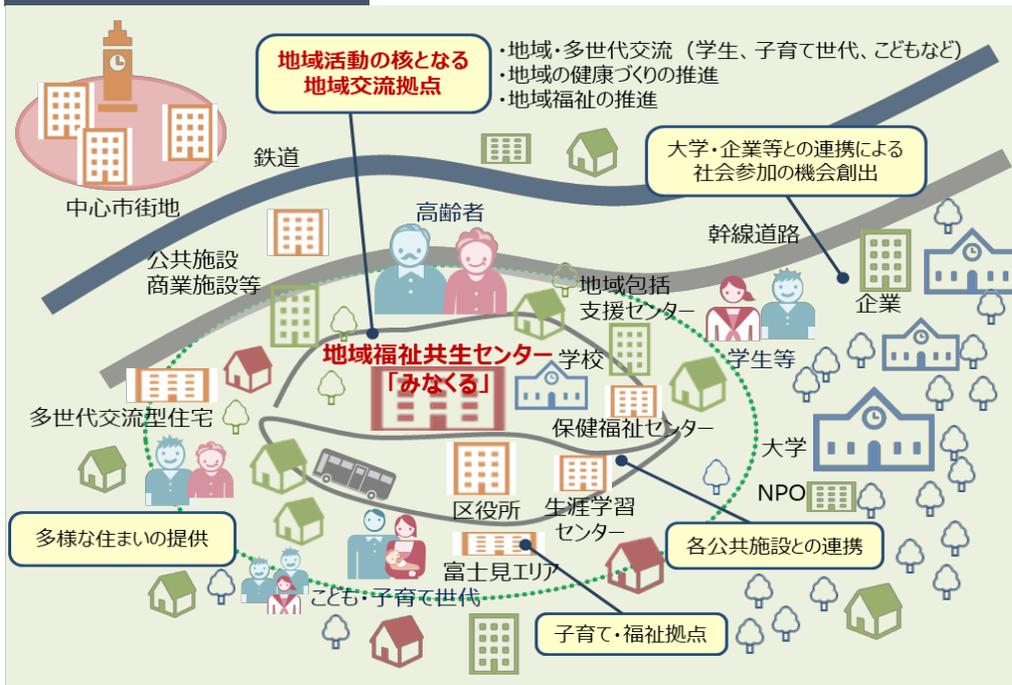
### 取組の効果

- 「生涯活躍」
- 「健康寿命延伸」
- 「地域活性化」

「健康長寿のまち」を推進

# CCRC駿河共生地区の概要

## 駿河共生地区のイメージ



## コンセプト

交流・共生で「健康長寿のまちづくり」  
～駿河地域モデルの発信～

## 新規施設

<オープン>

●地域交流拠点「みなくる」  
(市施設)

18'6

- 【主な活用・取組】
- ・市・区主催の行政イベント
  - ・共生事業・移住支援事業（県大に委託）
  - ・地域福祉推進事業（社協に委託）
  - ・市民の自主的な活動

## 周辺地図



●子育て・福祉拠点（富士見エリア）

・児童発達支援センター 19'4

・重症心身障がい者対応生活介護事業所 20'4

●地域・多世代交流型住宅

20'年度中

※その他、学校、企業、NPO、ボランティア団体など既にある関係機関とも連携

# 生涯活躍のまち静岡推進協議会 駿河共生地区部会委員

## 【部会員】

分類	所属等	役職等	氏名
事業関係者	静岡市社会福祉協議会	常務理事兼事務局長	杉山 昌弘
地域	駿河区自治会連合会	会長	坪井 英明
	南部学区自治会連合会	会長	山本 雅司
	駿河区民生委員・児童委員協議会	会長	高成田 和子
大学	静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター	副学長兼「ふじのくに」みらい共育センター長	合田 敏尚 ◎
		地域連携コーディネーター静岡市担当	小山 弘子
子ども子育て	東海大学短期大学部児童教育学科	教授	徳浪 芳江
金融	静岡銀行地方創生部地方創生グループ	グループ長	西尾 明浩
商業・産業	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社	社長室人事部副部長	平尾 由佳
移住支援	静岡市移住支援センター	相談員	大林 礼奈
			宮崎 早也香
行政	静岡市駿河区役所	駿河区長	杉山 たか子
	静岡市保健福祉長寿局	保健福祉長寿局長	平松 以津子
	静岡市地域包括ケア推進本部	地域包括ケア推進本部在宅医療・介護連携推進係長	木下 晴美

◎：部会長

## 【オブザーバー】

分類	所属等	役職等	氏名
事業関係者	静岡市社会福祉協議会	駿河区地域福祉推進センター長	北島 啓詞
行政	静岡市南部生涯学習センター	センター長	永嶋 通剛
		主事	杉山 峰之
	静岡市企画課	相談員	亀山 美佐子

<平成30年度>

第1回会議 H30.5.28開催

第2回会議 H30.10.12開催

第3回会議 H31.3.22開催

## 【静岡市関係課】

企画局企画課
アセットマネジメント推進課
市民局市民自治推進課
男女参画・多文化共生課
生涯学習推進課
駿河区役所地域総務課
健康支援課
保健福祉長寿局地域包括ケア推進本部
健康福祉部健康づくり推進課
障害者福祉課
高齢者福祉課
介護保険課
地域リハビリテーション推進センター
子ども未来局子ども未来課
都市局都市計画部都市計画課
建築部住宅政策課
教育委員会事務局教育局中央図書館
保健福祉長寿局健康福祉部福祉総務課

# 地域福祉共生センター「みなくる」

地域交流、地域福祉の拠点となる市の施設（南部図書館2階）

みなくるでは地域福祉を推進するとともに、地域と多世代の交流を促進することで社会参加の機会と生きがいを創出し、それにより健康な生活を送るというサイクルを作り、「健康長寿のまち」を推進します。



## 会議室

事前予約により会議や打ち合わせ、講演会等で利用できる会議室です。(有料)  
・60人程度収容  
・マイクシステム有

事前予約 TEL: 054-201-9010

利用時間: 9時から21時



## 地域交流スペース

ボランティアをはじめとした各種市民団体の活動を支援するためのスペースです。市民の活動の情報提供・情報発信、ミーティングやワークショップなど、自由に利用することができます。(無料)

※市のイベント等で利用する場合があります。

開館時間: 9時から21時まで

休館日: 毎月第2月曜日(祝日の場合は、

その翌日以後の最初の休日以外の日)

12月29日～1月3日

## 総合案内窓口

施設の利用に関する手続きや相談ができます。施設を利用される方は、まずはこちらへお立ち寄りください。

来館者数対前年比  
約6,700人(12%)増  
(平成29～30年度の  
6月～1月の期間を比較)



「健康長寿のまち」の推進とは  
静岡市が掲げる5大構想のひとつ。  
市民が、できる限り、健康で人生を  
楽しむことができ、住み慣れた地域  
で自分らしく暮らすことができるま  
ちを実現するための取組。

# みなくるオープン記念式典・イベント

〈平成30年6月10日〉

## ○開館記念式典



施設愛称発表（館名版除幕・提案者表彰）



まちづくり座談会  
（田辺静岡市長、鬼頭静岡県立大学学長、  
唐澤内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官）

## ○開館記念イベント （地域交流スペース）



# みなくるでの主な行政主催イベント

	事業名	事業概要	開催日時	参加人数
1	認知症サポーター養成講座 (子ども向け)	小中学生を対処とした認知症の人やその家族を見守る市民サポーターを養成する講座	7月31日	24人
2	認知症サポーター養成講座	認知症の人やその家族を見守る市民サポーターを養成する講座	10月18日	30人
3	フレイルチェック	フレイル予防のための健康度チェック	6月10日 12月13日	13人 12人
4	フレイルサポーター勉強会	フレイルチェックの自主的運営のための勉強会	6月10日	23人
5	「自宅ですっと」ミーティング (森下地区)	医療・介護専門職、住民との連携のための検討会	10月24日	20人
6	「自宅ですっと」ミーティング (中田地区)	医療・介護専門職、住民との連携のための検討会	10月22日 12月17日 1月21日	31人 30人 25人
7	健康爛漫計画（第2次）中間評価・ 中間見直し及び第3次食育推進計画 説明会・医師講演会 「意外と知らないタバコの話」 (タバコの害について) 健康測定会	健康爛漫計画中間評価・中間見直し及び第3次食育推進計画の説明と、医師によるタバコの害についての講演会 肺年齢・一酸化炭素濃度測定	7月10日	23人



	事業名	事業概要	開催日時	参加人数
8	健康増進普及月間 健康づくりイベント	健康測定 (内臓脂肪・体組成・血管年齢・肺年齢測定、味覚・咀嚼力チェック、栄養相談、足と靴のお悩み相談会)	9月11日	実70人 延384人
9	知って納得！スマイル講座	介護予防（口腔機能向上）のための講演会	1月30日	88人
10	元氣いきいき！ シニアサポーター事業	65歳以上高齢者のボランティア活動に地場 産品と交換できるポイントを付与	月1回	約100人
11	シニア向けお仕事説明会	市とセブンイレブンの連携協定に基づき、 高齢者就労促進に向けたセブンイレブンの 業務説明会を実施	8月8日	32人
12	特定健診受診勧奨イベント (みなくる開館記念式典内)	「健康年齢」を算出するブースを出展	6月10日	15人
13	しぞ〜かでん伝体操普及啓発事業	でん伝体操・ちゃきちゃき体操DVD放映、 体脂肪測定、各種事業のチラシ配布	6月10日	50人
14	しぞ〜かでん伝体操グループ 代表者情報交換会（各区で開催）	市から介護予防の現状報告、ちゃきちゃき 体操普及、情報交換など	8月27日	37人
15	しぞ〜かでん伝体操教室 (運動器機能向上事業)	でん伝体操等の介護予防プログラムを週 1回(計17回)実施する介護予防教室（委託 事業）	8月28日～ 12月18日	参加者 実15人・延239 人 従事者 実3人・延51人
16	しぞ〜かでん伝体操オープンスペース	でん伝体操・ ちゃきちゃき体操・ 歯っぴースマイル 体操	1月～毎週火 曜日（休館日 除く）	約40人



# 共生事業（静岡県立大学に委託）

地域・健康づくりに着目し、地域・多世代の交流、共生を推進

## 〈事業の内容〉

### ① 地域健康ステーション

- ・健康の見える化
- ・気軽な健康測定、健康相談
- ・情報発信

### ② 地域健康オープンカレッジ

- ・各種講座やイベントの開催
- ・学びの場の提供

### ③ みなくるカフェ

- ・地域、多世代の交流
- ・居場所づくり

### ④ 調査・研究

- ・「共生のまちづくり」についての意識調査、報告会



発行:平成30年12月1日  
部数:80,000枚

静岡県立大学は、静岡市地域福祉共生センターの共生・移住支援事業を静岡市から委託しています。

静岡市地域福祉共生センター「みなくる」は、地域住民が社会参画や生きがいを見出し、健康な生活を送ることができる「健康長寿のまち」を実現するために、静岡市が開発しました。静岡県立大学は、「みなくる」での共生事業を静岡市から受託し、県立大学の「ふじのくに」みらい共生センターが中心となり、健康判定や健康情報の発信、講座等の開催、居場所づくり、調査・研究などを行っています。これらの事業を通して、健康寿命を延ばし、誰もが生涯現役で住み続けられる「健康長寿のまち」の拠点づくりを進めていきます。

静岡県立大学は地域に開かれた地(知)の拠点大学として、教育、研究とともに地域社会への貢献に力を注いでいます。「ふじのくに」みらい共生センターは、地域との架け橋として、2016年から静岡市と「生涯活躍のまち」連携事業に取り組み、その実績に基づいて、「みなくる」における「共生・移住支援事業」を受託して、相談員を配置しています。「生涯活躍のまち」の実現には、誰もがやってきたくなる多世代や多文化の交流の拠点が必要です。「みなくる」では、地域住民や訪問者がゆるやかにつながりあう「居場所」として、社会参加の機会と生きがいを創り出し、それにより地域の健康度が高まるという「共生」のサイクルを回したいと思えます。

静岡県立大学 副学長/「ふじのくに」みらい共生センター長 合田 敬尚

「みなくる」が目指す共生社会の実現には、行政だけではなく、地域の方々や大学、NPO、関係団体等、多様な主体との連携が不可欠となりますが、静岡県立大学には、知見を活かした多世代交流や健康増進の企画、情報発信等により、この推進役になっていただけることを期待しています。

静岡市(保健福祉長寿局 福祉総務課)



「みなくる」(南図書館2階)

●地域健康ステーション ●地域健康オープンカレッジ ●みなくるカフェ

県立大学が担う共生事業の柱

- 地域健康ステーション
- 地域健康オープンカレッジ
- みなくるカフェ

大学の知を活用した調査・研究活動も進め、その結果を地域に還元し、「共生社会」を地域とともに考えます。

健康の見える化や健康情報の発信など  
講座・イベントなどで学びの場を提供  
地域・多世代の交流や居場所づくりなど

# ①地域健康ステーション

いつでも、誰でも相談や利用ができる、「健康の見える化」のための取組み

## ・専門的な知識を持つ

相談員の配置 ～心配ごとを気軽に相談



## ・健康測定器具の設置

～自分でできるという手軽さ



## ・食育講座

～様々な視点からのアプローチ



図書館や講座参加の  
「ついで」から  
健康そのものへの関心へ

### 【テーマ】

- ・遊びながら学ぶ親子講座
- ・介護予防のための食事 など

# ・健康フェスタ2018 (H30.11.23開催)

健康への関心をきっかけとした地域・多世代の交流機会を創出

## 〈測定項目〉

- ・ 血圧
- ・ 骨密度
- ・ 血管年齢
- ・ 肺年齢
- ・ 内臓脂肪
- ・ 口コミ度

## 〈自己チェック〉

- ・ 認知症
- ・ 食事の内容
- ・ お塩の摂り方

## 〈相談コーナー〉

- ・ 保健師
- ・ 管理栄養士
- ・ 薬剤師



## ★社会福祉協議会主催の「ふくしフェスタ」と 同時開催



過去最大  
参加者等270人

## ②地域健康オープンカレッジ

### 専門的な講座「地域を担う主体づくり講座」

「大学の知」を活かした、地域・健康づくりに関する人材養成講座を実施

#### 第1弾「地域で健康に暮らす」

- 第1回 健康長寿を支える日本型食生活を見直す
- 第2回 知って備える心不全
- 第3回 多職種連携から考える地域共生社会を担う人材育成

#### 第2弾「地域社会の課題を学ぶ」

- 第1回 地方創生と地域の盛衰～今地域に求められること～
- 第2回 人口減少時代の日本における外国人労働者受入れの現状と課題
- 第3回 地域包括ケアにおける住民主体のコミュニティづくり

参加者：各講座20名

(介護職、自治会役員、市民活動団体代表、会社員等)



# 一般的な各種講座

学びを通じて、地域住民に関する地域・健康づくりに関心を向上

- ・ ノルディックウォーク教室
- ・ 冬場の入浴の危険と予防



- ・ 食育入門『いただきます』上映会



赤ちゃんから  
高齢者まで  
“世代フリー”

### ③みなくるカフェ

地域・多世代の交流や居場所づくりを目的として開催

## 地域共生を推進するための意見交換会

地域住民、学生、行政職員等が参加し、  
地域共生を推進するために必要な事業  
や調査について意見を交換



## 地域×学生 交流イベント

- ・ 夏休み企画 「羽衣」読み聞かせ、ジャグリング教室
- ・ 9月防災週間 非常食を使ったランチ会&防災講座



交流＋体験

# 市民活動団体の活動支援

協働でイベントを企画・運営、スキルアップ支援

## ・ ママカフェ

バランスボール体験／みんなdeつみき



## ・ お茶のおいしさ再発見



## ・ 授産製品販売支援



## ④調査・研究

### 「共生のまちづくり」についての住民意識調査

#### 〈調査概要〉

- ・ 対象：駿河区南部学区、富士見学区、森下学区に住む  
20歳以上80歳未満の方
- ・ 内容：地域生活やまちづくり、「共生」に関する意識に  
ついてのアンケート

#### 〈結果報告会〉

- ・ 日時：平成31年2月20日
- ・ 場所：「みなくる」会議室
- ・ 参加者：約60人  
(地元自治会役員、教育関係者、  
福祉事業関係者、外国人支援団体、  
アンケートに答えた地域住民 等)



# 共生事業実績まとめ

## ①地域健康ステーション

	講座・イベント名	開催日	参加人数
1	食育講座①親子講座 「食べる力をつけよう」	8月4日	5人
2	食育講座②介護予防 「食事でいきいき健康長寿」	9月20日	12人
3	健康フェスタ2018	11月23日	270人
4	食育講座③親子講座 「食べる力」を学ぼう	12月13日	5人
5	長田唐芋クッキング※	1月19日	41人
6	食育講座④ 「介護食deカフェ」	1月31日	10人
7	食育講座⑤親子講座 「食べる力をつけよう2」	3月2日	5人
8	健康相談	随時	—

## ②地域健康オープンカレッジ

	講座・イベント名	開催日	参加人数
8	地域を担う主体づくり講座① 全3回★★★ 「地域で健康に暮らす ～健康長寿を地域から～」	9月6日 9月20日 10月4日	22人 19人 20人
9	地域を担う主体づくり講座② 全3回★★★ 「地域社会の課題を学ぶ ～今地域求められること～」	10月18日 11月1日 11月15日	18人 23人 20人
10	ノルディックウォーク教室① ★※	10月27日	10人
11	ノルディックウォーク教室② ★※	11月18日	12人
12	冬場の入浴の危険と予防★★	2月26日	15人
13	食育入門 映画 『いただきます』上映会★	3月9日	80人

★：難易度

※駿河区地域総務課共催

### ③みなくるカフェ

	講座・イベント名	開催日	参加人数
14	県大生による読み聞かせ&ジャグリング教室	8月18日	33人
15	意見交換会	8月30日	27人
16	非常食deランチ	9月29日	23人
17	バランスボール体験 &ママカフェ	1月31日	29人
18	みんなdeつみき	2月10日	71人
19	住民意識調査 報告会	2月20日	60人
20	授産製品販売支援	3月7日	—
21	みなくるミニフェス	3月24日	

### ④その他（講師派遣等）

	講座・イベント名	開催日	参加人数
	開館記念式典	6月10日	200人
22	講師派遣：居場所づくり 「栄養講座」* 1	7月11日	8人
23	講師派遣：女性講座 「女性のための栄養」 * 2	7月20日	18人
24	相談員派遣： 「なんぶフェスタ」* 2	8月26日	88人
25	相談員派遣：「知って 納得！スマイル講座」 * 3	1月30日	80人

\* 1 ひきこもり地域支援センター主催

\* 2 南部生涯学習センター主催

\* 3 健康づくり推進課主催

# 地域福祉推進事業（社会福祉協議会に委託）

「健康長寿のまち」の実現に向け、市民の誰もがができる限り健康で、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域福祉の推進を図る。

## 〈取組内容〉

### ①地域福祉推進のための市民講座・シンポジウム

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくり講座の開催
- ・ 地域での支え合い活動シンポジウムの開催

### ②ボランティア活動や地域福祉の情報提供・啓発

- ・ 広報紙「みなくるだより」の発行
- ・ パネル展示会の実施



# ①地域福祉推進のための市民講座・シンポジウム

## 地域で支え合いの仕組みづくり講座の開催

「地域共生社会」の実現に向け、市民が地域の実情に応じた地域福祉活動を実践するための講座を開催（全5回／定員20人）

### 第1回 障がい者スポーツ「ボッチャ」の体験と交流会

協力：NPO法人ひまわり事業団  
生活介護事業所それいゆ



### 第2回 居場所・おしゃべりサロン講座

事例提供者：清水区岡地区社会福祉協議会  
企画委員長 大石葉子氏



### 第3回 子育て支援講座

「孤独な子育てから、つながる子育てへ」

講師：NPO法人よしよし  
理事長 末吉喜恵氏

## 第4回 認知症サポーター養成講座

講師（キャラバンメイト）：訪問サービス城東はびすぽ 杉山直子氏

事例提供者：デイサービスセンター

エン・フレンテ 所長 吉田浩美氏



## 第5回 ママのための備災講座

講師：NPO法人はままつ子育て支援センターぴっぴ

理事長 原田博子氏



5つの異なる分野で、  
地域住民同士の支え合い活動  
（＝地域共生）について学び、  
考える場を提供

# 地域の支え合い活動シンポジウムの開催（H30.1.27）

## 【第1部】基調講演

「地域共生社会の実現について～今、地域に求められていることは何か～」

講師：静岡県立大学 副学長兼「ふじのくに」みらい共育センター長

合田敏尚氏



## 【第2部】事例紹介

事例提供者：社会福祉法人 花園会 理事 檜垣智郎氏

ひまわりっこ広場の会 代表 川森紀美代氏

生活支援 野バラの会 代表 森本襟子氏



参加者：151人

## ②ボランティア活動や地域福祉の情報提供・啓発

### 広報紙「みなくるだより」の発行

地域福祉共生センター「みなくる」で実施する事業（地域福祉推進、共生事業等）を広く市民に周知するために、広報紙を年2回発行し、自治会組回覧等にて配布（発行：23,000部）



### パネル展示会の実施

ボランティア活動や地域福祉活動の理解と関心を深めることを目的に、パネル展示会を実施

- ・地域の支え合い活動パネル展（H31.1.27～2.15）
- ・福祉教育パネル展（H31.2.20～3.15）



# 「みなくる」を拠点に地域へ発信する取組み

【社協事業】

## 駿河ふれあいふくしフェスタの開催（H30.11.23）

市民、福祉関係者、行政などが連携し、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を図るために、広報啓発イベントを実施

来場者数：約2,500人

参加団体：42団体

内 容：作業所の自主製品販売、遊びのコーナー、活動紹介、移動児童館など



★みなくる主催  
「健康フェスタ」と  
同時開催



## 【市委託事業】

# 生活支援ボランティア養成講座

公的サービスだけでは支えられない高齢者の生活課題に対して、地域やボランティア等で支える仕組みづくり及び担い手の育成を目的に、「入門編」、「フォローアップ編」を実施

入門編：H30.11.1～12.6（全5回）

フォローアップ編：H31.3.18～3.28（全3回）



# するが介護者おしゃべり会

在宅介護者の不安や孤立を防ぐことを目的に、介護情報の提供や介護者同士の交流を通しての仲間づくりを支援（年10回）

在宅介護者を支援するボランティアの育成として、「介護者を支えるボランティア講座」を実施（全3回）



★地域福祉の拠点として  
「みなくる」を活用し、  
事業を実施

# その他の活動

## 総合相談事業の実施

日常生活上の課題についての相談に応じ、必要な支援が提供されるよう連絡調整や伴走型支援を実施

## ボランティア活動に関する相談支援

ボランティアを必要とする人をボランティアをしたい人をつなげるため、連絡調整や活動先の紹介、情報提供等を実施

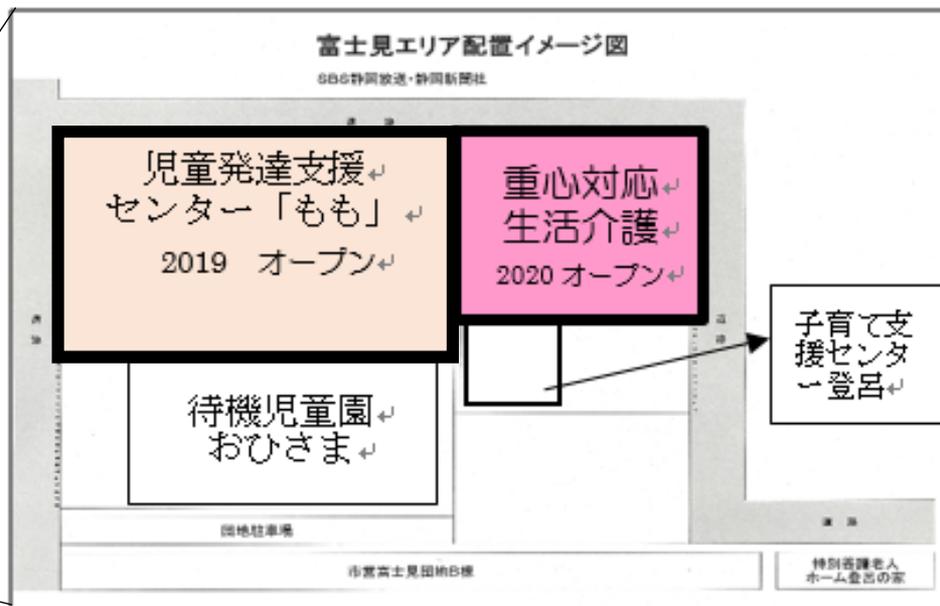
## 福祉体験プログラムの実施

児童・生徒が長期休暇を利用し、様々な福祉体験や活動に参加し、福祉について理解を深める体験事業を実施



# 富士見エリア（子育て・福祉拠点）

市有地を活用して民間活力を導入し、民設民営方式により2つの施設を整備



児童発達支援センター「もも」  
施設イメージ

	児童発達支援センター「もも」	重症心身障がい者対応 生活介護事業所
スケジュール	H29年度 整備運営事業者を公募、 選考、決定 H30年度 施設整備 H31年度 4/1オープン	H30年度 整備運営事業者を公募、 選考、決定 H31年度 施設整備 H32年度 4/1オープン（予定）
整備運営 事業者	社会福祉法人 花園会	NPO法人 ぴゅあ ※学校卒業後の障がい児の居場所を考える、障がい 当事者の保護者を中心とした法人
事業内容	就学前の発達が気になる子ども、運動発達や言葉の遅れ等で療育が必要な子ども達が健やかな成長・発達をしていくよう支援する施設。 葵区域東保健福祉エリアの「いこいの家」に続く、市内2か所目の施設。	日中において、食事、排せつ、入浴等の介護や、生活能力向上のための援助、創作的活動等の機会を提供するデイサービス施設。常時介護が必要な18歳以上の方が対象。 医療的ケア（人工呼吸器、たんの吸引、経管栄養等）の必要な重症心身障がい者を主な対象とする。
定員	50人	20人
開所日時	月～金曜日 9:00～17:00	月～金曜日 8:30～17:30
サービス 提供時間	9:30～15:30（延長保育有）	10:00～16:00（延長有）

# 地域・多世代交流型住宅

## 全体コンセプト

### 1. 居住者含めた地域・多世代の交流・共生の推進

・高齢者と子育て世代・学生などの多世代が、地域の中で安心して住み続けられる複合型の住宅施設により、世代間や地域間の交流・つながり（共生）を創出

### 2. 民間活力の活用

・市有地を活用した民設民営、民間事業者のアイデアやノウハウを活用

### 3. 移住・住み替えの受け皿整備

・静岡市のまちなかへの移住・住み替えの受け皿としても活用

## 求める機能

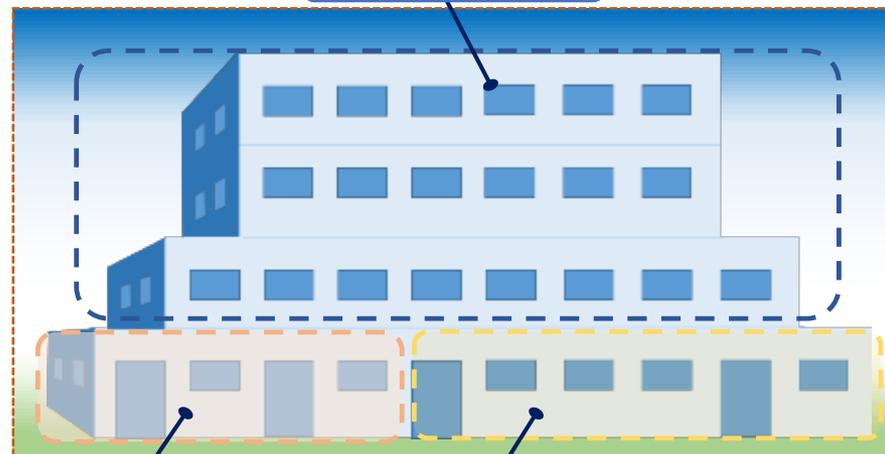
### ①居住機能(居室)

・高齢者向け居室 + 子育て世帯・学生向け居室など、多世代がともに入居する住まいを提供  
<イメージ>



## 地域多世代交流型住宅 機能イメージ

### ①居住機能



### ②地域交流機能

### ③生活環境向上機能

## 求める機能

### ②地域交流機能（地域交流スペース）

- ・居住者同士、居住者と地域住民等が交流できる公共性のある空間を提供
- ・地域住民の居場所づくりや、様々な地域活動に活用
- ・みなくる等の周辺施設との連携により、機能を補完

<イメージ>



### ③生活環境向上機能（各テナント）

- ・高齢者向け施設や子ども向け施設など、居住者や地域住民の日常生活の利便性が向上する機能を提供
- ・地域ニーズに加え、採算性にもかなうテナントを確保

<イメージ> ※これらのうち、3程度のテナントを事業者提案により実施





# 今後に向けて



駿河区応援隊長  
トロペー

## 〈これまでに得られた成果〉

- ・ 個人の健康づくりや福祉活動の機会の提供

⇒ 健康や地域共生社会に対する関心の高まり

- ・ イベントや講座に多様な方々が参加

→ 多世代による職種や立場を越えたつながり

⇒ 地域共生、地域づくりへの関心と参加

## 〈課題と来年度以降の取組〉

- ・ 子ども、外国人等含め **更なる世代間・地域間交流の促進**
- ・ 行政、県立大学、社会福祉協議会、地域、学校、企業、NPO等 **関係団体との協働の一層の推進**
- ・ 市民による **地域活動が活性化するような仕掛けづくり**